

岡山県の取組みと第26回全国都市緑化 おかやまフェアについて

岡山県土木部道路整備課

都市局都市緑化フェア推進室

岡山県の概要

岡山県は、山陽道の中央に位置し、東は兵庫県、西は広島県に隣接しており、南は昔より水運に恵まれた瀬戸内海に臨んで四国に、北は山陰地方と接し、中四国地方の交通の要衝として古くから重要な位置にあります。

古代から、大和地方と並んで古代吉備の文化発祥の地として栄え、現在に至るまで多様な産業、経済、文化の振興に大きく寄与してきたところです。

現在、県内縦横に延びる高速道路網、国内外へ飛び立つ岡山空港、新幹線をはじめとした東西南北につながる鉄道など、全国まれに見る交通基盤が充実し、中四国のクロスポイントとして着実に発展を続けており、岡山ICから高速道路を利用した2時間圏域人口は東京都の人口を超える1,640万人にもなっています。

また、岡山県は温暖な気候、自然、歴史などに裏付けられた全国に誇る観光資源が県内各地に多数あり、恵まれた交通機関を利用して県内外から

多数の観光客が訪れています。中でも、日本三名園の一つである岡山後楽園、白壁の町並みが残る倉敷美観地区、西日本屈指の高原リゾート蒜山高原、中国山地の出湯美作三湯などが人気があります。

この交通の要衝である岡山県の中で、地域の幹線道路網の形成をつかさどる道路の県管理区間は約4,400kmにも及んでおり、道路整備課は通常の道路維持補修や災害防除などの業務に加え、占用許可や道路の路線認定、区域決定、訴訟といった業務や、道の駅、大規模自転車道のような業務など、道路を快適に使っていただくため、幅広い業務を所管しています。

さらに、土木部として、来年の3月から、本県では「第26回全国都市緑化おかやまフェア」の開催を計画しており、その概要を紹介させていただくとともに、道路整備課として会場周辺で行っている電線類の地中化事業を紹介したいと思います。

「第26回全国都市緑化おかやまフェア」の開催 おかやま花だより2009 ～未来へ～

全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図り、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的に、現国土交通省の提唱により、昭和58年から毎年開催されている花と緑の祭典です。

「第26回全国都市緑化おかやまフェア」（主催：岡山県・岡山市・（財）都市緑化基金）は、メイン会場を岡山市西大寺地区、サブ会場を岡山城・岡山後楽園、協賛会場を岡山市西川緑道公園・岡山

市半田山植物園として、平成21年3月20日から5月24日までの66日間にわたり開催します。（資料1）

このフェアの開催は、緑豊かなまちづくりを体験から実践へと広げるとともに、歴史文化あふれる岡山の魅力を全国へ情報発信する絶好の機会であると考えています。

おかやまフェアでは、「環境にやさしい暮らし」を開催方針の一つに掲げ、未来に向けた提案として、ヒートアイランド対策に寄与する緑化技術を

紹介するなど、環境にやさしい暮らしを実現する契機にしたいと考えています。また、未来を担う子どもたちが自ら花壇を造るなど、楽しみながら学べるような取組を展開するとともに、利用する人も運営する人も誰もがわかりやすく使いやすいデザインを基調とした施設の整備やフェアの運営を行います。

メイン会場は、自然とふれあいを大切にしたい新しい時代の「エコライフ」を提案する環境をテーマとした「新世紀緑のまち」、花や緑にあふれる豊かな街並みと生活を楽しむ体験できる「花暮らしのまち」、花と緑に包まれて、「おかやま」の味を楽しんでいただける「ナチュラルバザール」、親子で一緒に遊べる子どもをテーマとした「キッズガーデン」、

果樹や果実に焦点をあわせ、暮らしの中での楽しみ方や「おかやま」ならではの特徴のある庭づくりを提案する「自然の恵みガーデン」、花と緑にあふれるまちづくりや環境にやさしい暮らしを華やかに演出する展示やイベントを行う「花と緑のテーマ館」によって構成されています。

現在、メイン会場においては、企業や団体が出展する庭園などの整備も始められるなど、来場者をお迎えするための準備が着々と進んでいます。さらに、花と緑のテーマ館内で行われるステージ



第26回 全国都市緑化おかやまフェア

おかやま花だより2009 未来へ

平成21年 3月20日(金)～ 5月24日(日)

メイン会場

岡山市西大寺地区

サブ会場

岡山城・後楽園

協賛会場

岡山市西川緑道公園・岡山市半田山植物園

主催 岡山県・岡山市・財団法人都市緑化基金

GREEN DESIGN

全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図り、緑豊かな潤いのあるまちづくりを目的として、毎年開催されている花と緑の祭典です。



■重森三玲展
岡山県出身の作庭家
その魅力を紹介します

① エントランス

自然の素材やデザインにより、「おかやまらしさ」を演出します。

② 新世紀緑のまち

自然とのふれあいを大切にしたい新しい時代の「エコライフ」を提案する環境をテーマとしたゾーンです。

③ 花暮らしのまち

花や緑にあふれる豊かな街並みと生活を楽しむ体験できるゾーンです。

④ ナチュラルバザール

花と緑に包まれて、「おかやま」の味を楽しんでいただきます。

⑤ キッズガーデン

親子で一緒に遊べる子どもをテーマにしたゾーンです。

⑥ 自然の恵みガーデン

果樹や果実に焦点を合わせ、暮らしの中での楽しみ方や「おかやま」ならではの特色のある庭づくりを提案するゾーンです。

⑦ 花と緑のテーマ館

花と緑にあふれるまちづくりや環境にやさしい暮らしを華やかに演出します。ユニバーサルデザインを取り入れた設計となっているため、すべての来場者の方に、安全・安心に利用していただけます。

入場券販売中!!

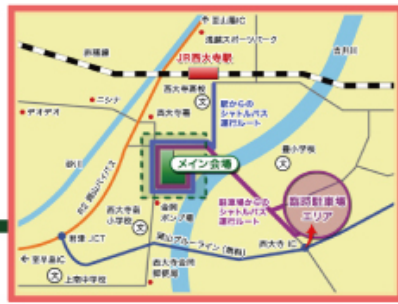
普通入場券 [前売] 300円 [当日] 350円 (18歳以上(ただし高校生は無料)～64歳以下)

団体入場券 280円(有料入場者30名以上の団体) 全期間入場券 1,000円

入場券は、実行委員会事務局、プレイガイド、コンビニエンスストア、旅行代理店などでお求めいただけます。

●第26回全国都市緑化おかやまフェア実行委員会事務局
〒700-0824 岡山市山下二丁目11番16号 小山ビル4F
TEL 086-801-0093(代) FAX 086-227-0114

URL http://www.pref.okayama.jp/doboku/ryokkafair/okayama_hanadayori2009.html



(資料1)

催事などにも数多くの参加申込をいただいております。県民、市民、企業、団体など多くの人々との協働による心に残るフェアが開催できるものと確信しております。

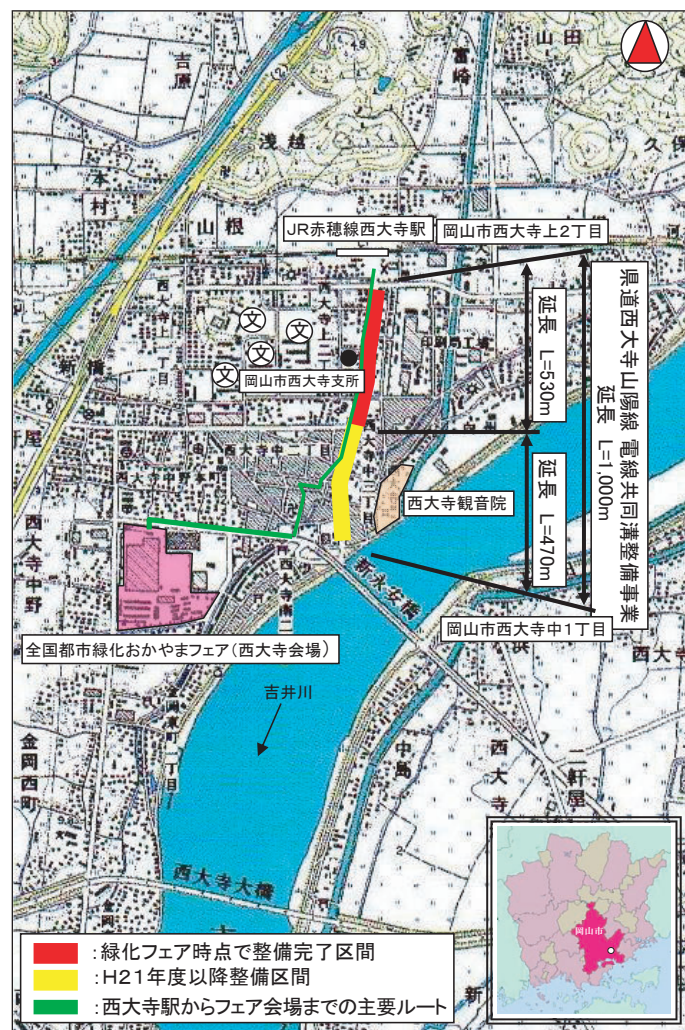
今後は、3月20日からの開催に向けて着実に準備を進め、県内外から来場される多くの方々におかやまフェアの魅力を堪能していただくとともに、このフェアの開催を通じて、県民の緑化意識の高揚と緑豊かなまちづくりを一層推進してまいります。

周辺の道路事業

- ・電線類の地中化（^{さいだいじさんよう}県道西大寺山陽線 電線共同溝整備事業）

岡山県では、^{さいだいじ}県道西大寺山陽線の岡山市西大寺中1丁目から西大寺上2丁目までの延長1,000mの区間において電線共同溝整備事業を実施しています。^{なかつ}県道西大寺山陽線は、岡山市西大寺地区と赤磐市を結ぶ幹線道路であるとともに、本区間の沿線にはJR ^{あこう}赤穂線西大寺駅や小・中学校及び高校、岡山市西大寺支所などの公共施設が立地しており、通勤や通学のため多くの歩行者や自転車が本区間を利用しています。そこで、歩行者や自転車の安全で円滑な交通の確保や都市景観の向上を図るため、平成15年度より整備に着手しました。

現在、JR 赤穂線西大寺駅側から整備を進めているところですが、本区間が西大寺駅と緑化フェアのメイン会場を結ぶ主要なルートとなっていることから、緑化フェア開催までに西大寺駅から530m間の電線類を地中化し無電柱化を図ります。（資料2、写真1（事業前）、写真2（事業後））



（資料2）



写真1（事業前）



写真2（事業後）

終わりに

今回は、道路管理といった内容だけではなく、全国都市緑化おかやまフェアの紹介もさせていただきましたが、本県では官民協働の管理手法として、「おかやまアダプト」推進事業を行っており、県管理の道路や河川、海岸などに対して、約 1,000 団体、36,000 人が清掃や草刈りに御参加をいただくなど、かなり大規模に事業を展開しております。(写真 3、写真 4)

また、県全体としては、来年 4 月には岡山市が政令市に移行することが閣議決定され、移行に向

けた引継等の準備で忙殺される中、本年 6 月に発表された財政危機宣言を受けて、11 月に「岡山県財政構造改革プラン」が発表され、道路管理に対しても新たな局面を迎えることとなります。

非常に厳しい状況も予想されますが、安全で安心な活力ある地域で人々の心が通い合う「いきいき岡山」、中四国の拠点としてグローバルに発展する「きらめき岡山」を目指し、県民の財産である道路を、将来にわたって安心して使っていただけるよう頑張っていきたいと思っています。



写真 3



写真 4